

佐渡市地域公共交通活性化協議会

<議 事 要 旨>

会議名称	平成22年度 第3回 佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成23年2月25日(金) 13:30～
開催場所	両津地区公民館 4階大会議室
議題	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 経過報告 4. 議事 (1) 平成22年度社会実験中間報告について (2) 平成23年度事業計画(案)について (3) 精神障害者及びフリー乗車券等による割引運賃について (4) その他 5. 閉会
会議資料	■議事次第 ■議事資料 資料1. 平成22年度社会実験中間報告について 資料2. 平成23年度事業計画(案)について 資料3-1. 精神障害者に対する運賃割引について 資料3-2. フリー乗車券等による運賃割引について
公開・非公開の別	公 開
出席委員	高野会長、廣川委員(代理:竹内委員)、後藤委員、小島委員、菊池(敏)委員、菊池(サ)委員、天澤委員、富永委員、佐藤委員、本間委員、佐野委員(代理:藤井委員)、廣瀬委員(代理:松苗委員)、音田委員(代理:多田委員)、加藤委員、野口委員(代理:松田委員)、浅井委員、田中委員、松本委員
欠席委員	鈴木委員、渡邊委員、中川委員、三國委員、柳委員
事務局	[佐渡市 交通政策課] 佐々木、渡邊、池、中川

1. 開会

2. 会長のあいさつ

会長：佐渡市長 高野宏一郎よりあいさつ

3. 経過報告

○来年度の補助事業について事務局より報告があった。

平成23年度より、従来の「地域公共交通活性化・再生総合事業」は廃止され、新たに「地域公共交通確保維持改善事業」が施行される。

当協議会で実施中の事業に関しては、経過措置の中で前事業のスキームで実施できるが、補助率は不明である。

○新潟運輸支局佐藤委員より補足説明があった。

経過措置について、ある程度の予算枠を設けると聞いておりますが、各地からの要求額が大きければ、補助率が下がる場合もある。

平成23年度より施行される「地域公共交通確保維持改善事業」について、2月中を目処に要綱の作成、3月には公募開始する予定である。詳しい情報が入り次第、連絡する。

4. 議事

(1) 平成22年度社会実験中間報告について

資料1「平成22年度社会実験中間報告について」を用いて、事務局より説明され、協議会で承認された。

(2) 平成23年度事業計画(案)について

資料2「平成23年度事業計画(案)について」を用いて、事務局より説明され、協議会で承認された。

(3) 精神障害者及びフリー乗車券等による割引運賃について

資料3-1「精神障害者に対する運賃割引について」および、資料3-2「フリー乗車券等による運賃割引について」を用いて、事務局より説明され、協議会で承認された。

(4) その他

事務局より、「3月に実施予定の食の陣対応の運賃表の訂正」について説明され、協議会で承認された。

佐渡西警察署より「高齢者の運転免許自主返納制度への支援」と新潟交通佐渡労働組合執行委員長 本間委員より「教育委員会の参加要望」が提案され、各々「事務局」で検討・協議することとなった。

【質疑応答】

(2)平成22年度事業計画（案）について

□藤井委員代理（地域整備部）

来年度の事業計画（案）に示されている乗り換え区間の拡大は良いことだと思う。また、バス利用の多くは高齢者の通院であるため、バス利用者について病院での診療や診療後の精算順序を考慮してもらい協議ができないか。

□事務局

バス利用者のみを優遇することは難しいと思う。

□高野会長

現在、病院建設に際し、病院側と定期的な話し合いの場を持っていますので、うまくいくかは分かりませんが、その場で話をしてみる。

(3) 精神障害者及びフリー乗車券等による割引運賃について

□田中委員

「精神障害者の割引」を実施することに問題ないと思うが、そもそも今までなぜ実施されていなかったのか。

□オブザーバー（新潟交通佐渡 富井課長）

精神障害者に対しては、これまで税制面での優遇にとどまっていた。平成17年の法律改正により精神障害者保健福祉手帳に写真を貼付する新様式になったため、本人確認ができるようになった。以上のことから、精神障害者にも交通費の割引制度を適用する。

(4) その他

□松苗委員代理（佐渡西警察署）

昨年の交通事故117件の内、65歳以上が関与しているものが55件、また加害者となっているものが33件であり、高齢者が加害者となって起きている交通事故の割合が多い。県内でも8市町村で支援が行われている状況である。前任者も発言していたかと思うが、高齢者の運転免許の自主返納制度への支援をお願いしたい。

□事務局

1、2年前に警察と協議したことがあったが、高齢者も「普段は利用しないが農作業の期間だけ運転したい」とか、「自動車は運転しないが原動機付き自転車は利用したい」などの高齢者側の意見があり、トラブルも起こっていた。当時は県内での免許返納制度に対する周知が行き届いておらず、まずは警察側で免許返納制度の周知を図ることとし、状況把握にとどまっていた。再度要望があれば、支援内容について、どのような事が出来るか協議したい。

□本間委員

今後、高校の通学バスの内容や、小中学校の合併等もあるので、教育委員会からも協議会に参加していただき、議論していただきたい。

□事務局

了解した。佐渡市の部署なので事務局として参加するか、協議会委員として参加するかなど参加方法について、事務局で検討する。

5. 閉会

松本副会長より閉会のあいさつ

以上

【協議会実施状況】

